



一般社団法人 日本化学工業協会

〒104-0033 東京都中央区新川一丁目4番1号 住友不動産六甲ビル7階
TEL:03-3297-2575 FAX:03-3297-2612 URL:<http://www.nikkakyo.org/>



2014年8月

一般社団法人 日本化学工業協会

日本化学工業協会 新LRI 第2期 研究報告会開催のご案内

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より一般社団法人日本化学工業協会(日化協)が進めております長期的な研究支援活動:LRI (Long-range Research Initiative)にご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

日化協では、LRIの活動を広く皆様に紹介するとともに、社会のニーズや業界が抱える喫緊の課題を共有する場としてLRI研究報告会を毎年開催しております。本年度は下記の通りとなっておりますので、ご予定頂ければ幸いです。

記

日時: 2014年 8月 29日(金) 9:30 - 17:00 (開場:9:00)

会場: ベルサール神田

東京都千代田区神田美土代町7 住友不動産神田ビル 2F

電話:03-5281-3053

(プログラム)

基調講演: 「化学品管理の歴史」

北野 大 先生 (淑徳大学 人文学部 教授)

特別講演: 「海洋漂流ゴミ問題の現状と今後～マクロ&マイクロプラスチックの環境負荷～」

磯部 篤彦 先生 (九州大学 応用力学研究所 教授)

ポスターセッション: 現在採択中の LRI 研究20課題

シンポジウム: 「内分泌かく乱物質の現状と課題」

研究報告会への参加は無料ですが、事前に別途参加登録が必要です。お申込み、および報告会の詳細は、8月1日より下記申込みサイトをご覧ください。

申込みサイト URL: <http://www.jcia-seminars.org/>

■本件のお問い合わせ先■

一般社団法人 日本化学工業協会

LRI事務局 水越、黛

E-mail: lri@jcia-net.or.jp

TEL:03-3297-2575

<日化協 新LRI 第2期 研究報告会プログラム>

日時：2014年8月29日(金) 9:30-17:00(開場9:00)

会場：ベルサール神田 2階

(東京都千代田区神田美土代町7 住友不動産神田ビル2F)

プログラム:

敬称略

午前の部	
9:00	開場
9:30 - 9:40	開会挨拶 西出 徹雄 (一般社団法人 日本化学工業協会 専務理事)
9:40 - 10:40	基調講演 「化学品管理の歴史」 北野 大 (淑徳大学人文学部 教授)
10:40 - 11:40	特別講演 「海洋漂流ゴミ問題の現状と今後 ～マクロ&マイクロプラスチックの環境負荷～」 磯辺 篤彦 (九州大学応用力学研究所 教授)
11:40 - 12:30	休憩
12:30 - 14:00	ポスターセッション ※展示は 16:00 まで 詳細は<参考資料>をご参照ください
午後の部 シンポジウム: テーマ「内分泌かく乱物質の現状と課題」	
14:00 - 14:05	「シンポジウムの狙い」 一鬼 勉 (一般社団法人 日本化学工業協会 化学品管理部部長)
14:05 - 14:35	「内分泌かく乱物質問題の最近の動向」 井口 泰泉 (岡崎統合バイオサイエンスセンター 教授)
14:35 - 15:05	「実験動物の遺伝学的・栄養学的基盤整備」 青山 博昭 (一般財団法人 残留農薬研究所 毒性部長)
15:05 - 15:35	「メタボリックプロファイリングによる化学物質の内分泌かく乱作用 in vitro 評価系の開発」 馬場 健史 (大阪大学大学院 工学研究科 准教授)
15:35 - 16:05	「ミジンコを用いた内分泌かく乱物質バイオモニタリング系の確立」 渡辺 肇 (大阪大学大学院 工学研究科 教授)
16:10 - 16:55	パネルディスカッション 井口 泰泉 (岡崎統合バイオサイエンスセンター 教授) 青山 博昭 (一般財団法人 残留農薬研究所 毒性部長) 馬場 健史 (大阪大学大学院 工学研究科 准教授) 渡辺 肇 (大阪大学大学院 工学研究科 教授) 庄野 文章 (一般社団法人 日本化学工業協会 常務理事)
16:55 - 17:00	閉会挨拶 中山 光二 LRI 運営委員長 (株式会社 三菱ケミカルホールディングス)

<参考資料>

■新LRI 第2期 指定課題および採択公募課題(ポスターセッション発表テーマ)

敬称略

ポスター番号	研究課題	氏名	所属
12_S01-01	事業者の自主管理に資する確率論を援用したヒト曝露評価モデルの開発	東海 明宏	大阪大学 大学院工学研究科
12_S01-02	ヒト肝キメラマウスを利用した化学物質の精緻なPBPKモデルの構築	山崎 浩史	昭和薬科大学 薬物動態学研究室
12_S01-03	化学物質の呼吸器感受性試験法の確立	青山 公治	鹿児島大学 大学院歯学総合研究科
13_S01-01	iPS細胞を利用する化学物質のがん幹細胞誘導性評価技術の開発	妹尾 昌治	岡山大学 大学院自然科学研究科
12_S02-01	ナノ材料の安全性予測に資する物性・品質/体内動態/安全性の関連評価	吉岡 靖雄	大阪大学 大学院薬学研究科毒性学分野
13_S02-01	工業ナノ粒子の溶解性と生体・生態影響評価に関する研究	岩橋 均	岐阜大学 応用生物科学部
13_S03-01	ショウジョウバエを活用したシックハウス症候群の発症機構の解明と原因物質評価系の開発	亀井 加恵子	京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科
12_S04-01	化学物質の環境中挙動(水中光分解、加水分解)に関する in silico 予測モデルの開発	高木 達也	大阪大学 大学院薬学研究科
12_PT01-02	事業者の自主的リスク評価管理を支援する環境リスク評価ツールの開発	林 彬勲	独立行政法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門
12_PT01-04	がん化初期段階における「代謝再プログラム化」過程を可視化できるマウスの開発と発がん性試験への応用	田沼 延公	地方独立行政法人 宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター 研究所
12_PT01-05	メタボリックプロファイリングによる化学物質の内分泌かく乱作用 in vitro 評価系の開発	馬場 健史	大阪大学 大学院工学研究科生命先端工学専攻
12_PT01-06	Active QSAR モデリングによるハザード予測の精緻化	高橋 由雅	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科情報・知能工学系
13_PT01-01	ゼブラフィッシュの神経分化を指標とする化学物質の発達神経毒性評価手法の開発	西村 有平	三重大学 大学院医学系研究科薬理ゲノミクス
13_PT01-02	産業利用促進を目指した新規 in vitro 発生毒性試験の応用研究	山影 康次	一般財団法人 食品薬品安全センター-秦野研究所
13_PT01-03	化学物質による複雑な肝毒性を予測および評価するためのインビトロ・インシリコ統合型システムの開発	吉成 浩一	静岡県立大学 薬学部
12_PT03-01	セリンプロテアーゼインヒビター欠損細胞を用いた化学物質過敏症の高感度 in vitro 評価系の開発 副題:呼吸器アレルギー検出のための細胞を用いた in vitro 系の検討	中村 晃	金沢医科大学 医学部免疫学講座
13_PT03-01	加齢による代謝酵素・トランスポーターの機能変動を考慮した数理モデルを用いた化学物質の体内挙動の定量的予測	楠原 洋之	東京大学 大学院薬学系研究科
12_PT04-01	PRTR 登録化学物質の包括的リスク評価手法の提案	中田 典秀	京都大学 大学院工学研究科附属 流域圏総合環境質研究センター
12_PT04-02	マイクロズムを活用した化学物質の生態系リスク影響評価システム手法の開発	稲森 悠平	国際科学振興財団
13_PT05-01	メコン川流域における複合的な環境汚染に対する新規網羅的モニタリングシステムの開発とその実効性の検証	平田 收正	大阪大学 大学院薬学研究科